

各種技術資料紹介

シャッター関係

防火シャッター閉鎖作動時の危害防止に関するガイドライン

関係省庁、学識経験者による検討委員会において、防火シャッター・防火扉の防火性能の確保、特に閉鎖作動時の危害防止の面から、建築物の管理者など関係者による日常点検や点検資格者による定期点検の重要性を指摘した内容となっています。

閉鎖作動時の危害防止に関する防火シャッター等の技術基準

「防火シャッター閉鎖作動時の危害防止に関するガイドライン」の運営にあたり、防火シャッターの危害防止対策に係わる注意喚起装置等および防火シャッターの機構上の技術的基準を示した内容となっています。

オーバーヘッドドア技術標準

建築物の開口部の使用目的に合わせてオーバーヘッドドアを正しく容易に選択できるように、建築物の構造別による収納形式の種類とオーバーヘッドドアの構造機能を説明するとともに、性能、品質、安全性、標準納まり設計、施工手順などを詳細に解説した内容となっています。

シャッター・オーバーヘッドドアの耐風圧強度計算基準

シャッター・オーバーヘッドドアにおける風圧力の考え方の他、各々の製品の風圧力計算の基準を統一し、それらをまとめた内容となっています。

なお、当協会会員各社は、本書の計算基準に従って製品の企画、設計、製作、施工を行います。

オーバーヘッドドアの安全に関するガイドライン

オーバーヘッドドアを安全にご使用いただき、適切な安全対応を検討するための参考にしていただく内容となっています（会員用）。

重量シャッター技術標準

安全で良質な重量シャッターの普及とともに、生産、技術等の向上に大きく貢献した昭和51年版の内容を見直し、平成12年に施行された改正建築基準法及び平成17年に施行された改正建築基準法施行令を踏まえ、新たに2007年版として刊行したものです。

重量シャッター耐震性能に関するガイドライン

東日本大震災で重量シャッターの部材落下事故が発生したことを受け、建築基準法施行令で運用基準のない水平荷重と鉛直荷重について制定した内容となっています（会員用）。

耐火クロス製防火／防煙スクリーン技術標準 2009年版

今回2005年に施行された改正建築基準法の内容を踏まえ、見直し追加された技術標準改定版の内容となっています。

ドア関係

「ドアのお手入れ」について

ドアは建物または住戸の顔として、いつまでもきれいに使いたいものです。しかし、時間が経過すると様々な条件で、汚れが目立ってきたり「さび」が発生したりして、美観を損なってしまいます。そこで本書では、ドアをきれいに長く使って頂くために、塩害による「さび」の発生原因とお手入れのポイントについて、ご紹介致します。

安全・安心にドアをお使いいただくために

たて穴区画への防火・防煙ドア設置の奨励、防犯性能の高いドアの開発・普及、防火ドアの定期点検の実施、防火・防煙ドアへのブランドラベル貼付など、ドアに係わる当協会の総合的な安全対策の推進を紹介した内容となっています。



防犯関係

防火・防煙ドア技術基準及び関係基準等

「防火上重要な異種用途区画、避難上重要なたて穴区画を、より高い防火・防煙区画とするために、当協会が自主的な基準を定めたものです。「技術基準」「施工基準」「施工検査要項」「点検基準」を盛り込んだ内容となっています。



防火戸の運用に関する手引き

建築物の火災による延焼の拡大を防止し、避難時の安全を確保するために、設置することが義務づけられている防火戸の運用に関する手引き書です。本書は、防火戸の「関連規定」、「種類と構造」、「安全性」、「関連法規」について、詳細に解説された内容となっています。



防犯性能の高い建物部品 JSDAガイドライン

防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議の活動経緯をはじめ、同会議の構成団体として当協会が推進する防犯性能の高い建物部品の開発・普及に向けた取り組みを盛り込んだ内容となっています。



シャッター防犯の手引き

当協会では、国土交通省、警察庁、財団法人全国防犯協会連合会のご協力をいただき、「シャッター防犯の手引き」を発行し、侵入犯罪に対してより防止効果が高いシャッターの普及を促進しております。



保守点検・メンテナンス

防火／防煙シャッター安全に管理していただくために

平成10年にまとめられた「防火シャッター閉鎖作動時の危害防止に関するガイドライン」をわかりやすく説明したもので、建築物の利用者のことを考え、建築物の所有者や管理者の皆様が防火・防煙シャッターを正しく安全に管理していただくための内容となっています。



講習テキスト・用語集

防火シャッター・ドアと維持管理 防火シャッター・ドア保守点検 専門技術者テキスト

当協会では、長年に渡り、製品の安全・安心を確保するため保守点検技術者を育成する「防火シャッター・ドア保守点検専門技術者資格認定講習会」を開催しております。本書は、この資格者認定のための講習会用テキストです。



防火シャッター・防火扉・連動制御設備 メンテナンスのおすすめ

煙・熱感知器の作動と連動して自動閉鎖する防火シャッター・防火扉・連動制御設備について、適正な維持管理による安全の確保を図るため、自主的な基準として点検の区分と期間、点検内容、点検資格および報告内容などを明確にした内容となっています。



シャッター・ドアの施工と施工管理 シャッター・ドア施工専門技術者テキスト

当協会では、質の高い施工技術を維持するため「シャッター・ドア施工専門技術者資格認定講習会」を開催しております。本書は、この資格者認定のための講習会用テキストです。



防火シャッター・防火扉・連動制御設備の点検基準

煙又は熱感知器の作動と連動して自動閉鎖する防火シャッター・防火扉およびこれらの連動制御設備の機能維持と作動時の安全を確保するために、点検を行う際の基準を定めた内容となっています。



シャッター・ドア用語集

防火シャッター・ドアの点検法制化に向けて、業界内で使用されてきた用語に加え、関連業界での用語も勘案しつつシャッター、ドアに関する用語を1,169語写真、図解入りで見やすく掲載された内容になっています。



会報紹介



創刊号 (2001 (平成 13) 年新春号)

目次

各界からのお言葉

国土交通省住宅局長 三沢 真氏
 東京大学大学院工学系研究科教授
 菅原 進一氏

(財) 日本建築センター顧問
 澤田 光英氏

(株) 日本設計代表取締役社長
 内藤 徹男氏

定款変更とその趣旨

(専務理事 大沼 喜明)

基準化推進の組織と狙い

(基準化推進協議会会長 高山 俊隆)

危害防止機構の設置基準まとまる

(運営委員会委員長 茂木 哲哉)



第4号 (2002 (平成 14) 年新春号)

目次

新春対談

『いかに徹底するか、防災の点検、
 維持・管理』

(社) 日本火災報知機工業会会長
 関口 昌男氏

VS

(社) 日本シャッター・ドア協会会長
 岩部 金吾

お隣り紹介

全国自動ドア協会



第2号 (2001 (平成 13) 年夏号)

目次

平成 12 年度定時総会開催

ごあいさつ
 (会長、(社) 日本建築学会会長
 仙田 満氏)

平成 13 年度事業計画

お隣り紹介
 (社) 日本火災報知機工業会



第5号 (2002 (平成 14) 年春号)

目次

特別寄稿

芝浦工業大学名誉教授 明野 徳夫氏
 株式会社久米設計
 取締役社長 岡本 賢氏

特集

活動本番を迎える委員会
 耐火クロス製防火・防煙スクリーン
 技術基準作成委員会
 EV 前防火設備委員会
 連動機構・装置等自主管理検討
 委員会
 シャッター防犯対策研究会

トピックス

エレベーター前防火設備に用いる
 防火戸の遮煙性能試験を実施

お隣り紹介

日本防排煙工業会

スポットライト

煙・熱感知器連動機構・装置等の自
 主評定新制度がスタート



第3号 (2001 (平成 13) 年秋号)

目次

トップニュース

クロスシャッター、
 自主基準化に向けて第一歩

特別寄稿

(株) 安井建築設計事務所取締役社長
 佐野 吉彦氏

インタビュー

「ドアメーカーから見た JSDA への期待」
 鐵矢工業 (株) 社長 鉄矢 知志氏
 田中サッシュ工業 (株)
 社長 東田 誠之氏
 (株) 手島製作所社長 手島 康博氏

お隣り紹介

日本ロック工業会



第6号 (2002 (平成 14) 年夏号)

目次

特別寄稿

東京大学大学院 助教授 清家 剛氏
 株式会社日建設計
 取締役社長 三栖 邦博氏

特集

～平成 14 年度事業計画～

トピックス

「エレベーター前防火区画に用いる
 防火設備」国土交通大臣認定を取得

ご紹介

財団法人 日本建築防災協会



第7号 (2002 (平成14) 年秋号)

目次

特別寄稿

東京理科大学助手 名取 舜氏
株式会社梓設計 代表取締役社長
今井 一郎氏

特集

座談会「スチールドアの業界構築への
パラダイム」

シリーズ・防火設備と避難安全性

第1回「逃がす」
株式会社日建設 設備設計主管
森山 修治氏

ご紹介

財団法人日本消防設備安全センター



第10号 (2003 (平成15) 年夏号)

目次

特別寄稿

工学院大学工学部 教授 吉田 伸郎氏
株式会社山下設計 代表取締役社長
横山 孝治氏

特集

・平成15年度事業計画
・官民合同会議・試験検討委員会による
防犯ドアの予察試験が行われる

技術対応情報

シャッター・オーバーヘッドドアにおける
風圧力基準を統一

シリーズ・防火設備と避難安全性

第4回「避難安全検証法と防火扉」
株式会社日建設 設備設計主管
森山 修治氏

ご紹介

財団法人 全国防犯協会連合会



第8号 (2003 (平成15) 年新春号)

目次

特集

新春特別座談会
「建設ストック時代の市場と雇用を
語る」

シリーズ・防煙の話

第2回「煙を遮る」
株式会社日建設 設備設計主管
森山 修治氏

ご紹介

株式会社日本建築センター



第11号 (2003 (平成15) 年秋号)

目次

特別寄稿

株式会社三菱地所設計
取締役社長 島田 勝久氏

ニュース

金剛産業・佐土原社長、国土交通大
臣表彰を受賞
中国建築科学研究院一行が当協会を
訪問

特集

座談会「メンテナンス・サービス事業
をどう拡大する!」

スポットライト

官民合同会議・防犯シャッター、ドア、
窓シャッター他の試験細則が決定

シリーズ

第1回「火災安全を考える」
諏訪東京理科大学 教授 奈良 松範氏

ご紹介

社団法人 公共建築協会



第9号 (2003 (平成15) 年春号)

目次

提言

シャッター防火の重要性
東京大学大学院工学系研究科 教授
菅原 進一氏

特別寄稿

株式会社日本設計 情報・技術センター
シニアエキスパート 富松 太基氏

特集

防犯対策、JSDAの取り組み!

トピックス

エレベータ前防火区画に用いる特定防
火設備「鋼製折りたたみ戸」の国土交
通大臣認定を取得

シリーズ・防火設備と避難安全性

第3回「炎を遮る」
株式会社日建設 設備設計主管
森山 修治氏

ご紹介

社団法人 建設産業専門団体連合会



第12号 (2004 (平成16) 年新春号)

目次

特別寄稿

丹下都市建築設計
副所長 高橋 良典氏
工学院大学 建築学科環境建築コース
講師 村上 正浩氏

特集

新春特別対談
『防火、そして環境・都市の未来とは!』
東京大学名誉教授・
東京理科大学教授 菅原 進一氏
VS
(社) 日本シャッター・ドア協会会長
岩部 金吾

シリーズ・火災安全を考える

第2回「リスクマネジメントはコスト
低減に役立つか」
諏訪東京理科大学 教授 奈良 松範氏

ご紹介

財団法人 ベターリビング

会報紹介



第13号 (2004 (平成16) 年春号)

目次

特別寄稿

株式会社 横河建築設計事務所
取締役東京事務所長 伊東 国善氏

特集

防犯性能の高い建物部品目録が公表
～JSDA 会員トータルで5製品 432タイプが登載～

シリーズ・火災安全を考える

第3回「新しいリスクマネジメント手法の実際」諏訪東京理科大学 教授 奈良 松範氏

スポットライト

「ドア事業総合プロデュース委員会」発足!

トピックス

特殊建築物等定期調査業務基準講習会が開催される

ご紹介

社団法人 日本防犯設備協会



第16号 (2005 (平成17) 年初夏号)

目次

特集1

平成17年度事業計画

特別寄稿

株式会社レーモンド設計事務所
代表取締役 青地 是明氏

ニュース

オーバーヘッドドアが防犯目録に追加登録
「住まいの防犯展」への出展で防犯性能の高さをPR!

特集2

原材料・資材等に関する会員企業への緊急影響調査を実施

トピックス

危害防止装置の標準装備化へ
建基法施行令改正、12月に施行!

シリーズ

第2回「製品ではなく技術を売る」
東京大学大学院新領域創成
科学研究科環境学専攻
助教授 清家 剛氏



第14号 (2004 (平成16) 年秋号)

目次

特別寄稿

早稲田大学理工学部 建築学科
教授 長谷見 雄二氏
安井建築設計事務所 東京営業所
所長 大村 鐵太郎氏

NEWS

大沼専務理事が国土交通大臣表彰を受賞

特集

今年度JSDA重点テーマを追う!
「防犯」「安全対策」「ドア事業」の3大テーマの現況と今後の方向性を追う

シリーズ・火災安全を考える

第4回「製品に要求される新しい価値」
諏訪東京理科大学 教授 奈良 松範氏

ご紹介

板硝子協会



第17号 (2005 (平成17) 年秋号)

目次

特別寄稿

株式会社エヌ・ティ・ティ
ファシリティーズ 取締役
米川 清水氏

特集

「記者が語る、防犯・安全・ストック市場」

ニュース

・防犯建物部品関連5団体が記者会見
・東西支部設置の狙いを訊く!

スポットライト

シートシャッターの技術標準、事故防止対応に関するガイドラインを作成

トピックス

ドア事業推進委員会が新体制で発足!

シリーズ

第3回「環境という新しい要求条件」
東京大学大学院新領域創成
科学研究科環境学専攻
助教授 清家 剛氏



第15号 (2005 (平成17) 年新春号)

目次

特別寄稿

株式会社 石本建築事務所
プロジェクト推進室設計
監理部長 南 知之氏

新春座談会

「拡大する会員組織とその活性化について!!」

シリーズ

第1回「シャッター・ドアをめぐる新しい考え方」

東京大学大学院新領域創成
科学研究科環境学専攻助教授
清家 剛氏

ご紹介

建築改装協会



第18号 (2006 (平成18) 年新春号)

目次

特集

JSDA 会員「西日本支部発足会」開催される

ニュース

・シャッター・ドアによる事故の再発防止策を推進
・「シャッター・ドア事故報告制度」の運用開始
・新任役員紹介

トピックス

・危害防止機構の設置が義務化される
・住宅性能表示制度の表示項目に「防犯に関すること」が追加される



第19号 (2006 (平成18) 年初夏号)

目次

特集

平成18年度 定時総会開催される

特別寄稿

株式会社日本設計 情報・技術センター
シニア・エキスパート情報室長
富松 太基氏

スポットライト

「危害防止装置に関するQ & A集」
(会員向け資料) を作成

ニュース

- ・第12回・13回 防火シャッター・ドア検査員 資格講習会を開催
- ・「防犯に配慮した共同住宅」にCP商品の設置が明記

シリーズ

- 第4回 評価方法共有化の時代
- ・東京大学大学院環境学専攻
助教 清家 剛氏



第22号 (2007 (平成19) 年初夏号)

目次

特集

平成19年度定時総会開催される

特別寄稿

株式会社日建設計
設計技術室次長 設計室設計主管
松下 督氏

シリーズ DOOR

ドア事業の諸課題と今後の取り組み!



第20号 (2006 (平成18) 年秋号)

目次

特集1

「防火シャッター・ドア等点検法制化
推進本部」設置される!

特別寄稿

株式会社ジェイアール東日本建築設計
事務所 技術本部長 猪飼 昇氏

スポットライト

- ・複合防火設備の大臣認定 (CAS 新認定番号) への移行手続きが完了
- ・会員の皆様へ 関係企業の皆様へ
入会をご推薦ください

ニュース&トピックス

- ・『住宅の防犯対策について』のパンフレット完成
- ・改訂版「オーバーヘッドドア技術標準」を刊行
- ・運営委員会が中国・大連の生産工場を視察
- ・『防火シャッター・ドア検査員』講習会の開催相次ぐ!

シリーズ2

- 環境の時代の評価とものさし
第1回 評価とものさしの重要性
- ・東京大学大学院環境学専攻
助教 清家 剛氏



第23号 (2007 (平成19) 年秋号)

目次

特別寄稿

株式会社三菱地所設計
常務執行役員ビル開発設計部長
東條 隆郎氏

クローズアップ

- ・国土交通省/建専連の意見交換会
で岩部会長が意見申し入れ!

スポットライト

「可動座板式危害防止設置基準」
できる

シリーズ2

- 環境の時代の評価とものさし
第3回 国と地域の価値観の違い
- 東京大学大学院環境学専攻
准教授 清家 剛氏



第21号 (2007 (平成19) 年新春号)

目次

特集

新春特別対談
「ユーザーから信頼される安心・安全、
保守点検のあり方!」

スポットライト

- ・「講習委員会」の今後の展開について
岡本光永委員長に訊く!
- ・防火シャッター・ドア等点検法制化
推進本部の活動状況について

シリーズ2

- 環境の時代の評価とものさし
第2回 国にとって公平なものさし
- 東京大学大学院環境学専攻
助教 清家 剛氏



第24号 (2008 (平成20) 年新春号)

目次

特集

平成20年新年祝賀の集い開催される
「点検法制化へ、その体制づくりが急務!!」

特別寄稿

株式会社松田平田設計
特定建築設計部主管 齊藤 英己氏

シリーズ2

- 環境の時代の評価とものさし
第4回 道具を使いこなそう
- 東京大学大学院環境学専攻
准教授 清家 剛氏

会報紹介



第25号 (2008 (平成20) 年初夏号)

目次

特集

平成20年度通常総会開催される

NEWS

- ・鋼材等高騰に関するアンケートをもとに緊急記者会見を実施
- ・保守点検専門技術者認定講習会を全国で開催
- ・防犯性能の高いシャッター・ドア等自主管理委員会の委員長に東京大学の小出教授が就任



第28号 (2009 (平成21) 年初夏号)

目次

特別寄稿

株式会社 佐藤総合計画
代表取締役会長 島田 孝好氏

特集

平成21年度通常総会開催される

NEWS

第3回社整審『定期報告制度WG』開催

トピックス

- ・『シャッター・ドア用語集』発行
- ・運営委員会と企画委員会に新委員長が就任

シリーズIII

- 「安全・安心なまちづくり」
- ・第3回 市民活動と防犯
東京大学工学部都市工学科
教授 小出 治氏



第26号 (2008 (平成20) 年秋号)

目次

特別寄稿

株式会社 教育施設研究所
専務取締役 木村 直氏

ハイライト

ドア分科会・設計問題WG
「建具工事推奨納まり図」まとまる

トピックス

- ・防火設備に関する定期調査報告制度の見直しを検討!!
- ～第1回定期報告制度等ワーキンググループの協議内容～

シリーズIII

- 第1回「安全・安心なまちづくり」
- ・東京大学工学部都市工学科
教授 小出 治氏



第29号 (2009 (平成21) 年秋号)

目次

特別寄稿

株式会社 梓設計 広報室長
塩原 達郎氏

特集

点検体制の整備と強化

NEWS

- ・保守点検専門技術者を対象とした特別講習会を開催
- ・西日本支部交流会開催
- ・協会『評定登録事業』の実績



第27号 (2009 (平成21) 年新春号)

目次

特別寄稿

株式会社 横河建築設計事務所
建築設計部 次長 福田 由弘氏

特集

今年の抱負を聞く!

スポットライト

- ・『ワンストップサービスセンター事業』の活用法!

シリーズIII

- 「安全・安心なまちづくり」
- ・第2回「防犯環境設計」
東京大学工学部都市工学科
教授 小出 治氏

NEWS

- ・「改正建築士法」が施行される



第30号 (2010 (平成22) 年新春号)

目次

特別寄稿

株式会社 明野設備研究所
取締役部長 中島 秀男氏

特集

記者座談会『建築市場、活路をひらく視点』

シリーズIII

- 「安全・安心なまちづくり」
- ・第4回「ゲートッド・コミュニティ」
東京大学工学部都市工学科
教授 小出 治氏



第31号 (2010 (平成22) 年初夏号)

目次

特別寄稿

株式会社 ジェイアール東日本建築設計事務所
上席理事 設計本部長 大川 邦彦氏

特集

平成22年度通常総会開催される

NEWS

特別講習会開催



第34号 (2011 (平成23) 年初夏号)

目次

特別寄稿

株式会社久米設計
執行役員 監理本部副本部長
監理部統括部長 大野 啓二氏

特集

平成23年度通常総会開催される

トピックス

節電対策のポイント紹介

シリーズ「環境と経営」

第3回「企業の存続とイノベーション」
諏訪東京理科大学大学院
教授 奈良 松範氏



第32号 (2010 (平成22) 年秋号)

目次

特別寄稿

株式会社 日総建
代表取締役常務 開発設計本部長
渡辺 一郎氏

特集

元下請取引問題の改善に向けて

ズームUP

I 「シャッター・ドア保守点検推進研究会」発足
II 「ドア技術委員会」諸留委員長に訊く

シリーズ「環境と経営」

第1回「PPM分析と環境変化の視点」
諏訪東京理科大学大学院
教授 奈良 松範氏



第35号 (2011 (平成23) 年秋号)

目次

特別寄稿

株式会社日本設計
情報・技術センター長 富松 太基氏

特集

座談会「施工力」の時代を語る
～協会の施工技術者資格制度導入に向けて～

NEWS

『「ドアのお手入れ」について』パンフ
発刊
優秀施工者国土交通大臣顕彰者に
協会として表彰

シリーズ「環境と経営」

第4回「企業マネジメントクオリティ」
諏訪東京理科大学大学院
教授 奈良 松範氏



第33号 (2011 (平成23) 年新春号)

目次

寄稿

株式会社三菱地所設計
建築設計二部長 渡邊 顕彦氏

特集

シャッター・ドア保守点検推進研究会
の提言

NEWS

優秀施工者表彰制度を新設

スポットライト

耐火クロス製防火／防煙スクリーンが
新たな自主管理運用を開始

シリーズ「環境と経営」

第2回「経営・営業戦略における協調
と裏切り」
諏訪東京理科大学大学院
教授 奈良 松範氏



第36号 (2012 (平成24) 年新春号)

目次

特別寄稿

株式会社ジェイアール東日本
建築設計事務所
上席理事 設計本部長 大川 邦彦氏

ズームアップI

「シャッター・ドア施工専門技術者
資格者制度」がスタート

ズームアップII

「製品安全普及事業検討委員会」が
発足

シリーズ「建築防災設計を考える」

第1回「防火関係規定の性能規定化」
東京理科大学 理工学部 建築学科
教授 大宮 喜文氏

会報紹介



第37号 (2012 (平成24) 年初夏号)

目次

特別寄稿

株式会社社建設計
取締役 設計本部長 鶴田 和也氏

特集

平成24年度通常総会開催される

ズームアップ

「シャッターをより安全にお使い
いただくために」

シリーズ「建築防災設計を考える」

第2回「性能規定と防火技術」
東京理科大学 工学部 建築学科
教授 大宮 喜文氏



第40号 (2013 (平成25) 年初夏号)

目次

特別寄稿

株式会社日建設計
設計監理技術センターBCP室長
松下 督氏

NEWS

社会保険未加入対策について

特集

平成25年度通常総会開催される

ズームアップ

シャッターの用途別調査について

シリーズ「建築防災設計を考える」

第4回「社会的欲求の多様化への対応」
東京理科大学 工学部
建築学科 教授 大宮 喜文氏



第38号 (2012 (平成24) 年秋号)

目次

特別寄稿

株式会社山下設計
東京本社コスト設計室 植村 潤子氏

特集

第1部 座談会
「シャッター・ドア保守点検技術者、
女性の資格者増える」

第2部 意見交換会
「シャッター・ドア施工専門技術者
資格制度について聞く」



第41号 (2014 (平成26) 年新春号)

目次

特別寄稿

「環境配慮の先にあるもの」
株式会社ジェイアール東日本
建築設計事務所 取締役設計本部長
東京プロジェクト部長 石橋 裕之氏

特集

新年賀詞交歓会開催される

スポットライト

新たに2つのプロジェクトチームが発足
「製品安全普及事業検討プロジェクト
チーム」
「浸水防止用設備検討プロジェクトチ
ーム」

シリーズ

第1回「これからの防災設備のあり方」
東京理科大学 工学部第二部
建築学科 教授 河野 守氏



第39号 (2013 (平成25) 年新春号)

目次

特別寄稿

株式会社 洋建築企画
代表取締役 山口 洋一郎氏

特集

2013年新年賀詞交歓会開催される

シリーズ「建築防災設計を考える」

第3回：防災計画書の役割
東京理科大学 教授 大宮 喜文氏



第42号 (2014 (平成26) 年初夏号)

目次

特集

平成26年度通常総会開催される

NEWS

- ・建築基準法の改正により防火設備に
関する資格者制度の導入が決定
- ・浸水防止用設備についての動き
- ・「重量シャッター耐震性能に関する
ガイドライン」の運営について
- ・「無線式危害防止装置基準」等の
制定と運用について
- ・東田副会長逝去のお知らせ

スポットライト

労働災害発生状況調査について

シリーズ

第2回「これからの防災設備のあり方」
東京理科大学 工学部第二部
建築学科 教授 河野 守氏

会報紹介

■会報「シリーズ」執筆者ご紹介

| タイトル名 | 執筆者 | 掲載期間 |
|----------------------|-------------------------------------|-------------------------|
| 「防火設備と避難安全性」 | 株式会社日建設計 設計設備主幹 森山 修治氏 | 2002（平成14）年～2003（平成15）年 |
| 「火災安全を考える」 | 諏訪東京理科大学 教授 奈良 松範氏 | 2003（平成15）年～2004（平成16）年 |
| 「シャッター・ドアをめぐる新しい考え方」 | 東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻 助教授 清家 剛氏 | 2005（平成17）年～2006（平成18）年 |
| 「環境の時代の評価とものさし」 | 東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻 助教授 清家 剛氏 | 2006（平成18）年～2008（平成20）年 |
| 「安全・安心なまちづくり」 | 東京大学工学部都市工学科 教授 小出 治氏 | 2008（平成20）年～2010（平成22）年 |
| 「環境と経営」 | 諏訪東京理科大学大学院 教授 奈良 松範氏 | 2010（平成22）年～2011（平成23）年 |
| 「防火関係規定の性能規定化」 | 東京理科大学理工学部建築学科 教授 大宮 喜文氏 | 2012（平成24）年～2013（平成25）年 |
| 「これからの防災設備のあり方」 | 東京理科大学工学部第二部建築学科 教授 河野 守氏 | 2014（平成26）年～ |

各種証紙紹介

■各種証紙紹介

■防犯性能の高い建物部品「表示マーク」

「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」で定められた防犯性能試験を行い、想定される侵入手口による攻撃に対して、5分以上防ぐ性能を有する事が確認された製品を示すマーク。

該当製品の表面に貼付したり、カタログやパンフレット等に使用することが認められている。



■防犯性能の高い建物部品「自主評定マーク」

「防犯性能の高いシャッター・ドア等自主管理委員会」において防犯性能試験を受け、評価された製品を示す自主評定マーク。

製品型式の登録番号が印字された証紙を協会より購入し、該当製品に貼付する。



■複合防火設備の国土交通大臣認定「証紙」

当協会と（一社）日本サッシ協会が取得した国土交通大臣認定品の製造および供給に際して、会員企業は当協会と使用契約を交わす必要がある。そのため、認定品には品質保証の証として、国土交通大臣認定番号と当協会の会員番号他が記載された証紙を貼付している。

鋼製シャッター・鋼製開き戸／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

国土交通大臣認定 CAS-0257 (平成17年改正 令第112条対応)

鋼製シャッター・鋼製開き戸／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

一般社団法人 日本シャッター・ドア協会 JSDA-0000

鋼製開き戸・木質系開き戸・鋼製シャッター・鋼製折りたたみ戸／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

国土交通大臣認定 CAS-0258 (平成17年改正 令第112条対応)

鋼製開き戸・木質系開き戸・鋼製シャッター・鋼製折りたたみ戸／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

一般社団法人 日本シャッター・ドア協会 JSDA-0000

協会年史



| 年 | 協会の動き | 社会の動き |
|--------------|--|---|
| 1964 (S39) 年 | <ul style="list-style-type: none"> 重量シャッター・メーカーを中心として(社)日本シャッター工業会設立認可(建設省)(12月) 正会員23社、賛助会員5社、計28社(12月) 初代会長に鈴木久進が就任(12月) | <ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック開幕(10月) 東海道新幹線開業(10月) |
| 1965 (S40) 年 | <ul style="list-style-type: none"> 「シャッターの背面温度分布状況測定」試験実施(建設省建築研究所)(3月) 「シャッターの騒音測定」試験実施(東京消防所)(11月) | <ul style="list-style-type: none"> 名神高速開通(7月) 長野県松代の群発地震(8月) いざなぎ景気(10月から1970年7月まで) オリンピック後の不況、業界全体が受注減 |
| 1966 (S41) 年 | <ul style="list-style-type: none"> 重量シャッター標準化委員会(委員長:星野昌一 東京大学教授)(6月) | <ul style="list-style-type: none"> 群馬県水上温泉菊富士ホテル火災30人焼死(3月) 古都保存法施行(4月) 建設省住宅局建築指導課「耐火構造の指定について」 |
| 1967 (S42) 年 | <ul style="list-style-type: none"> 防災研究会「防火区画関係」に参加(東京消防庁)(10月) 建設省、東京消防庁より煙感知器連動シャッターに関し(社)日本火災報知機工業会との共同開発の要請あり。「煙感知器連動シャッター開発委員会」(委員長:星野昌一 東京大学教授)を発足(12月) 日本建鉄、伝統を誇る重量シャッター部門を閉鎖、撤退 | <ul style="list-style-type: none"> 公害対策基本法公布(8月) ASEAN(東南アジア諸国連合)結成(8月) ビル建設ブーム、地方都市に波及 |
| 1968 (S43) 年 | <ul style="list-style-type: none"> 軽量シャッターJIS専門委員会の審議開始(1月) シャッター標準化委員会「シャッターによる開口部防火要求性能」刊行(3月) 煙感知器連動シャッター開発研究の成果を建設省、東京消防庁に答申(12月) | <ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ関ビル竣工(4月) 十勝沖地震(5月) 兵庫県有馬温泉池之坊満月城火災30人焼死(11月) 3億円事件発生(12月) GNPが世界第2位となる |
| 1969 (S44) 年 | <ul style="list-style-type: none"> 鈴木シヤタア、三機工業と業務提携(2月) 欧州業界視察団を派遣(5月) 「煙感知器連動シャッター」研究報告刊行(6月) 工業会として建築基準法の改正を陳情(11月) | <ul style="list-style-type: none"> 福島県磐梯熱海温泉磐光ホテル火災30人焼死(2月) 東名高速道路全通(5月) |

| 年 | 協会の動き | 社会の動き |
|--------------|---|--|
| 1970 (S45) 年 | <ul style="list-style-type: none"> 資料「シャッター用語集」刊行 (6月) 「乙種防火戸用スラットの耐火性能測定」、(財) 建材試験センターにて試験実施 (7月) (社) 日本火災報知機工業会と共同開発に係る「煙感知連動機構」に対し (財) 日本建築センターより防災性能評定書交付 (10月) カラーフープ登場。スラット差込自動化など技術革新進む 大野製作所、鬼頭製作所に吸収合併。70年の歴史を閉じる (11月) | <ul style="list-style-type: none"> 大阪万国博覧会開催 (3月) よど号ハイジャック (3月) 世界貿易センター竣工 (3月) 建築基準法の改正 (防火・避難規定の強化等) (6月) |
| 1971 (S46) 年 | <ul style="list-style-type: none"> 「煙検出器連動閉鎖機構」に対し、建築基準法第 38 条に基づき建設大臣認定 (2月) | <ul style="list-style-type: none"> 京王プラザホテル竣工 (6月) 環境庁発足 (7月) ドルショック、円切上げによる不況で受注全体量減少 (8月) 青函トンネル起工式 (11月) |
| 1972 (S47) 年 | <ul style="list-style-type: none"> 防火シャッター JIS 改正工業会案を通商産業省工業技術院に提出 (1月) 第二代会長に小俣博司が就任 (5月) 「防火ドアの通気量測定」、(財) 建材試験センターにて実験実施 (5月) 建設省より防煙シャッター開発の要請文書を受け、研究開始 (9月) | <ul style="list-style-type: none"> 冬季札幌オリンピック開催 (2月) 浅間山荘事件 (2月) 大阪千日前デパート火災 118 人焼死 (5月) 沖縄返還、沖縄県発足 (5月) ミュンヘンオリンピック開幕 (8月) 日中国交回復 (9月) |
| 1973 (S48) 年 | <ul style="list-style-type: none"> 「防煙用シャッターの通気量測定、(財) 建材試験センターにて実験実施 (5月) | <ul style="list-style-type: none"> 為替、変動相場制に移行 (2月) オイルショック (10月) 熊本大洋デパート火災死者 103 名 (11月) 改正建築基準法公布 (竪穴区画の遮煙性能義務づけ) (12月) |
| 1974 (S49) 年 | <ul style="list-style-type: none"> JIS 二原案「遮煙性能を有する防火シャッターの試験方法」及び「遮煙性能を有する防火シャッターの検査標準」の審議終了 (3月) 米国・カナダにおける業界及び防災事情視察団を派遣 (6月) | <ul style="list-style-type: none"> 改正建築基準法施行 (竪穴区画の遮煙性能義務づけ) (1月) 連続企業爆破事件 (8月) 田中内閣金脈問題で総辞職 (12月) |
| 1975 (S50) 年 | <ul style="list-style-type: none"> 工事部会発足 (3月) 設立 10 周年記念祝賀会開催 (11月) (パレスホテル) | <ul style="list-style-type: none"> ベトナム戦争終結 (4月) 沖縄国際海洋博覧会開幕 (7月) 建設省ハウス55 計画発表 (9月) |
| 1976 (S51) 年 | <ul style="list-style-type: none"> 第三代会長に高山萬司が就任 (5月) JIS 原案「防火シャッター検査標準」通商産業省工業技術院へ提出 (12月) | <ul style="list-style-type: none"> ロッキード事件 (2月) モントリオールオリンピック開幕 (7月) 建築基準法改正：日影規制 |

| 年 | 協会の動き | 社会の動き |
|--------------|---|--|
| 1977 (S52) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・(財) 消防設備安全センターの「シャッター水圧開放装置認定基準作成委員会」に参画 (4月) ・「防災工事施工要領・保守契約書・点検報告書」刊行 (9月) | <ul style="list-style-type: none"> ・北海道有珠山爆発 (8月) ・王貞治 756 号本塁打 (9月) |
| 1978 (S53) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「シャッター 100 年の歩み」刊行 (11月) | <ul style="list-style-type: none"> ・成田 (新東京国際) 空港開港 (3月) ・宮城県沖地震 M7.5 (6月) ・池袋サンシャインビル竣工 (10月) |
| 1980 (S55) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「煙感知器連動機構評定」、(財) 日本建築センターより付与 (3月) ・第四代会長に山口信之が就任 (5月) ・「連動機構・装置等自主管理委員会」業務開始 ・第 1 回「防火シャッター保守点検技術員認定講習会」を開催 (東京)。テキスト「防火シャッターの維持管理」を刊行 (8月) | <ul style="list-style-type: none"> ・静岡駅前地下街ガス爆発 (8月) ・川治プリンスホテル火災死傷者 22 名 (11月) ・自動車生産 1104 万台で世界 1 位 (12月) |
| 1981 (S56) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「シャッター耐風圧強度計算基準」刊行 (3月) ・「ISO 加熱炉」の実験に試験供試体を提供し実験に協力参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルニュージャパン火災死者 33 名 (2月) ・神戸ポートアイランド博覧会 (3月) ・建築基準法改正 (新耐震基準) (6月) |
| 1982 (S57) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・建築学会標準仕様書 (JASS) 改定原案作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・東北新幹線大宮・盛岡間開通 (6月) ・住宅・都市整備公団発足 (10月) |
| 1983 (S58) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・第五代会長に岡田敏が就任 (4月) | <ul style="list-style-type: none"> ・東京ディズニーランド開園 (4月) ・日本海中部地震 M7.7 (5月) ・三宅島大噴火 (10月) |
| 1984 (S59) 年 | | <ul style="list-style-type: none"> ・サラエボオリンピック開幕 (2月) ・スペースシャトル、「ディスカバリー」初の打上げ成功 (8月) |
| 1985 (S60) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・(財) 日本建築センター「開口部防火研究委員会」に参加 ・「シャッター性能研究委員会」設置 (委員長: 明野徳夫 芝浦工業大学教授) ・「煙・熱感知器連動機構・装置等の構造基準に適合する設備・機器」の評定 (委員長: 岸谷孝一 東京大学教授) (11月) | <ul style="list-style-type: none"> ・つくば国際科学技術博覧会開催 (3月) ・関越自動車全通 (10月) |
| 1986 (S61) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種シャッターの「定期点検の要領と判定基準」刊行 ・「建築設備維持保全研究会」に参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・東北自動車道全通 (7月) ・伊豆三原山が 209 年ぶり大噴火 (11月) |
| 1987 (S62) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「防火シャッターの漏気量測定」を (財) 日本建築総合試験所にて試験実施 ・「防火シャッターの遮熱性向上に関する研究報告書」(シャッター性能研究委員会) を刊行 ・オーバーヘッドドア (OHD) 部会設置 | <ul style="list-style-type: none"> ・国鉄分割民営化、JR グループ各社が営業開始 (4月) ・NY 株式市場で株価大暴落「ブラックマンデー」で東京株式市場も暴落 (10月) |

| 年 | 協会の動き | 社会の動き |
|--------------|---|---|
| 1988 (S63) 年 | | <ul style="list-style-type: none"> ・カルガリーオリンピック開幕 (2月) ・青函トンネル開通 (3月) ・瀬戸大橋開通 (4月) ・ソウルオリンピック開幕 (9月) |
| 1989 (H1) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「オーバーヘッドドア耐風圧強度計算基準」刊行 (4月) ・日米構造協議に関連してシャッター遮熱性向上対策の研究を実施 ・横浜防災システム展に協賛出展 (7月) | <ul style="list-style-type: none"> ・昭和天皇崩御、平成に改元 (1月) ・消費税 (3%) 導入実施 (4月) ・北京天安門事件 (6月) ・東西冷戦終結 (12月) ・日経平均最高値 (12月) |
| 1990 (H2) 年 | | <ul style="list-style-type: none"> ・長崎屋尼崎店火災で死者 15 名 (3月) ・湾岸危機勃発 (8月) ・東西ドイツ統一 (8月) ・バブル経済崩壊 |
| 1991 (H3) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「オーバーヘッドドア技術標準」作成 ・米国・カナダにおける建築防火戸開発事情視察団を派遣 | <ul style="list-style-type: none"> ・湾岸戦争、多国籍軍イラク攻撃 (1月) ・東京都庁新築落成 (3月) ・雲仙普賢岳で大規模火砕流発生 (6月) ・ソビエト連邦崩壊 (12月) |
| 1992 (H4) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「平成3年台風19号による被害調査書」作成 ・「防火・防煙シャッターの二段降下システムについて」刊行 ・ヨーロッパにおける建築用防火戸等開発状況視察団を派遣 | <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線「のぞみ」登場 (3月) ・優秀施工者建設大臣顕彰 (建設マスター) 開始 (4月) ・PKO (国連平和維持活動) 協力法公布 (6月) |
| 1993 (H5) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・オーバーヘッドドアの JIS 新規制定原案を通商産業省工業技術院に提出 ・東京国際消防災展に協賛出展 ・「PL (製造物責任法) 委員会」(委員長: 高山俊隆 副会長) 発足 (10月) ・「防火シャッター保守点検専門技術者認定規定」の改正及び講習会用テキストの改編 | <ul style="list-style-type: none"> ・横浜ランドマークタワー開業 (7月) ・北海道南西沖地震発生 (7月) ・細川内閣発足 (7月) ・EU 統合市場発足 (11月) |
| 1994 (H6) 年 | | <ul style="list-style-type: none"> ・関西国際空港開港 (9月) ・三陸沖地震 M7.5 (12月) ・北海道東方沖地震 M8.1 (10月) ・国民1人当たりGNP世界第1位 |
| 1995 (H7) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・設立30周年記念祝賀会開催 (明治記念館) (1月) ・「PLガイドライン」刊行 (3月) | <ul style="list-style-type: none"> ・阪神・淡路大震災発生 (1月) ・地下鉄サリン事件 (3月) ・製造物責任 (PL) 法施行 (7月) |

| 年 | 協会の動き | 社会の動き |
|--------------|---|---|
| 1996 (H8) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第六代会長に高山俊隆が就任 (5月) | <ul style="list-style-type: none"> ・ エイズ薬害問題で菅厚生大臣が謝罪 (2月) ・ アトランタオリンピック開幕 (7月) ・ ペルー日本大使館公邸占拠事件発生 (12月) |
| 1997 (H9) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「重量シャッター技術標準」刊行 (3月) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田新幹線こまち開業 (3月) ・ 消費税5%に増税 (4月) ・ 地球温暖化防止京都会議開幕 (12月) |
| 1998 (H10) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第七代会長に岩部金吾が就任 (5月) ・ 「防火シャッター閉鎖作動時の危害防止に関するガイドライン」策定 (10月) ・ 「閉鎖作動時の危害防止に関する防火シャッター等の技術基準」作成 (12月) ・ 「防火防煙シャッター、安全に管理していただくために」(パンフレット)発行 (12月) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 長野オリンピック開催 (2月) ・ 明石海峡大橋開通 (4月) ・ 改正建築基準法公布 (6月) (仕様規定から性能規定へ) ・ 山一証券自主廃業 (11月) |
| 1999 (H11) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「防火シャッター・防火扉・連動制御設備の点検基準」策定 (社)日本火災報知機工業会との共同 (9月) | <ul style="list-style-type: none"> ・ EU通貨統合 (1月) ・ 台湾中部で大地震発生 (9月) |
| 2000 (H12) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 工業会の事業拡充、拡大方策を検討する「特別委員会」を設置 (1月) ・ 第八代会長に大西盛美が就任 (5月) ・ 工業会の自主的な技術基準策定を促進するため「基準化推進協議会」を設置 (8月) ・ 「防火シャッターと維持管理」(防火シャッター検査員テキスト)刊行 (11月) ・ 第九代会長に岩部金吾が就任 (11月) ・ (社)日本シャッター・ドア協会」設立 (名称変更等建設大臣認可) (12月) ・ (社)日本シャッター・ドア協会初代会長に岩部金吾が就任 (12月) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道有珠山噴火 (3月) ・ 住宅の品質確保の促進に関する法律施行 (3月) ・ 介護保険制度スタート (4月) ・ 改正建築基準法施行 (性能規定化等) (6月) ・ 東京都三宅島噴火 (6月) ・ シドニーオリンピック開幕 (6月) ・ 沖縄サミット開催 (7月) |
| 2001 (H13) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐火クロスシャッター、間口拡大計算方式の検証試験実施 ((財)建材試験センター) (7月) ・ 「シャッター部会」「ドア部会」を設置 (8月) ・ 連動機構・装置等自主評定委員会を設置 (11月) ・ 会員証及び会員証書を発行 (12月) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央省庁改革で1府12省庁へ移行 (1月) ・ 米同時多発テロ事件発生 (9月) ・ 東京新宿歌舞伎町明星ビル火災死者44名 (9月) |

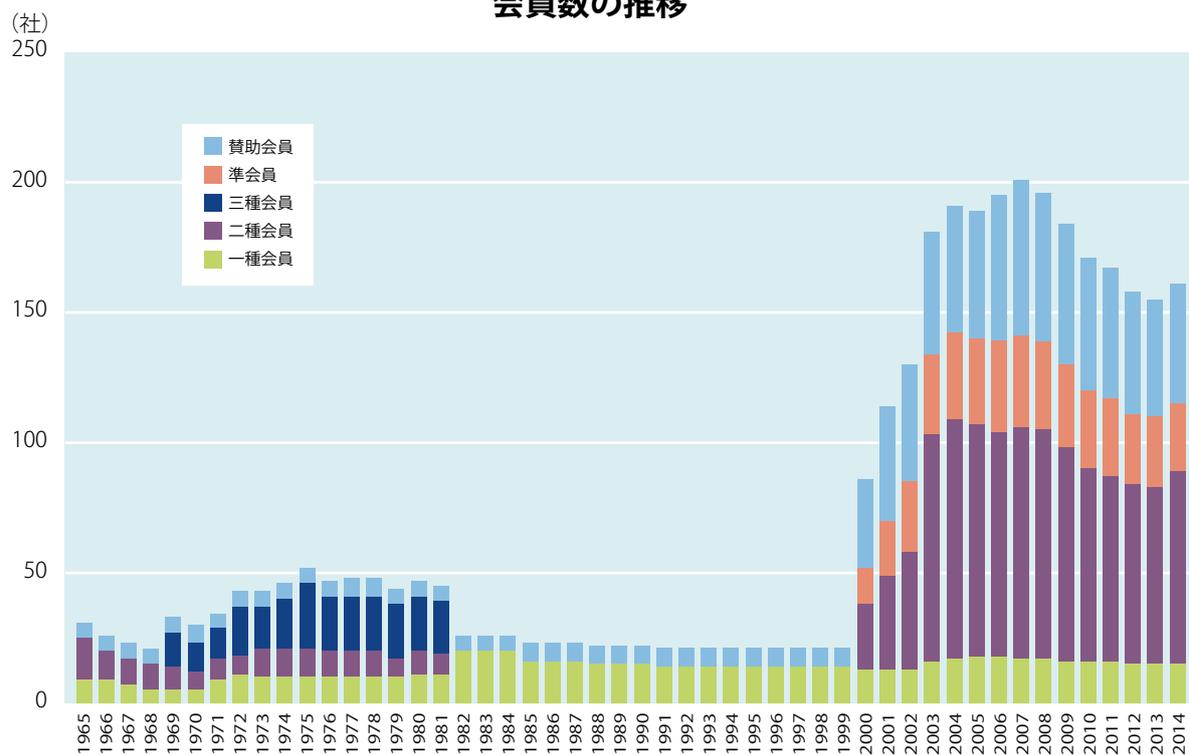
| 年 | 協会の動き | 社会の動き |
|--------------|---|--|
| 2002 (H14) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・鋼製シャッター、鋼製開き戸に関し、遮煙性能を有する防火設備として国土交通大臣認定（認定番号：CAS-0002（新認定番号：CAS-0257,H17.12.1～））を取得（5月） ・契約の「適正化推進と見積条件の明確化」の研修会テキスト制作（10月） | <ul style="list-style-type: none"> ・ユーロ圏 12ヶ国内、欧州単一通貨ユーロ貨幣流通開始（1月） ・日韓共催サッカーワールド杯開催（5月） ・小泉首相がピョンヤンを訪問（9月） ・「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」設置（11月） |
| 2003 (H15) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・鋼製折りたたみ戸に関し、遮煙性能を有した防火設備として国土交通大臣認定（認定番号：CAS-00402（新認定番号：CAS-0258,H17.12.1～））を取得（3月） ・「煙・熱感知連動機構・装置等の設置及び維持に関する運用指針」刊行（3月） ・「シャッター・オーバーヘッドドアの耐風圧強度計算基準」刊行（3月） ・「シャッター防犯の手引き」刊行（4月） | <ul style="list-style-type: none"> ・米英軍のイラク攻撃開始（3月） ・日本郵政公社発足（4月） ・市町村の平成の大合併進む |
| 2004 (H16) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ドア事業総合プロデュース委員会」を設置（1月） ・「耐火クロス製防火・防煙スクリーン技術標準」刊行（2月） ・「防犯性能の高い建物部品目録」が公表され、「防犯性能の高い建物部品 JSDA ガイドライン」パンフレット刊行（5月） ・「JSDA 総合安全対策研究会」を設置（6月） ・防犯性能試験と審査を行う「防犯性能の高いシャッター・ドア等自主管理委員会」を設置（6月） ・「防火／防煙シャッター危害防止機構の設置が義務づけられました！」（パンフレット）発行（6月） ・シャッター、ドア、窓シャッターの侵入抵抗性基準を策定（12月） ・「抵抗性等級 2」（侵入抵抗時間 10 分）に関する侵入抵抗性基準を自主管理委員会で策定（12月） | <ul style="list-style-type: none"> ・年金改革関連法案成立（6月） ・アテネオリンピック開幕（8月） ・新潟県中越地震発生（10月） ・スマトラ沖地震津波（12月） ・自衛隊イラク派遣開始（12月） |
| 2005 (H17) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・防火・防煙ドア技術基準及び関係基準等」刊行（4月） ・鋼製重量ドアにブランドラベルの貼付を標準化（4月） ・建設 5 団体に「鋼材価格及び原材料等の高騰に伴う価格改善のお願い」を申し入れ（4月） ・「シャッター・ドア総合カタログ」刊行（4月） ・「オーバーヘッドドア」が、防犯性能の高い建物部品目録に追加登録（6月） ・ドア部会を改称した「ドア事業推進委員会」を発足（8月） ・「安全・安心にドアをお使いいただくために！」（パンフレット）発行（10月） ・「シャッター・ドア安全対策検討委員会」を設置（10月） ・危害防止機構設置の義務化（12月） ・西日本支部発足（12月） | <ul style="list-style-type: none"> ・京都議定書発効（2月） ・愛知万博開催（3月） ・個人情報保護法が全面施行（4月） ・JR 福知山線脱線事故（4月） ・アスベスト被害、深刻に（6月） ・郵政民営化法が成立（10月） ・構造計算書偽造問題（姉歯事件）発覚（11月） |

| 年 | 協会の動き | 社会の動き |
|--------------|---|---|
| 2006 (H18) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「危害防止機構の設置が義務づけられました！」パンフレット刊行 (1月) ・東日本支部発足 (1月) ・住宅性能表示制度に CP 商品の設置が掲載される (4月) ・国土交通省の「共同住宅に係る防犯上の留意事項」「防犯に配慮した共同住宅に係る設計指針」の改正で、CP 商品の設置を明記 (4月) ・5 団体防犯建物部品普及促進協議会が「住宅の防犯対策について」(パンフレット) を発行 (8月) ・「防火シャッター・ドア等安全システム研究会」を設置 (9月) ・複合設備の新大臣認定番号 (CAS-0257、CAS-0258) への移行手続きを完了 (9月) | <ul style="list-style-type: none"> ・トリノオリンピック開幕 (2月) ・住生活基本法施行 (6月) ・全国各地で集中豪雨被害 (7月) ・悠仁親王誕生 (9月) ・改正教育基本法成立 (12月) |
| 2007 (H19) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校に設置された既設の防火シャッター用安全装置「可動座板式危害防止装置設置基準」を制定 (8月) ・会員数が 201 社に拡大 (9月) ・「防火戸の運用基準」に関する手引き書を策定 (9月) ・「シャッター・ドア等点検法制化検討委員会」を設置 (10月) | <ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震 (3月) ・改正建築基準法施行 (建築物の安全性確保) (6月) ・中越沖地震 (7月) ・郵政民営化スタート (10月) ・米サブプライム問題で世界の経済・金融に混乱 |
| 2008 (H20) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人への移行をめざして「公益社団法人移行特別委員会」を設置 (1月) ・建設 4 団体に「鋼材等高騰に伴う価格改善のお願い」を申し入れ (4月) ・社会資本整備審議会 建築物等事故・災害対策部会「定期報告制度等ワーキンググループ」(主査：辻本誠 東京理科大学教授) に、当協会から委員が参画 (9月) ・ドアに関する『建具工事推奨納まり図』を作成 (10月) | <ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療制度スタート (4月) ・中国・四川大地震発生 (5月) ・北京オリンピック開幕 (8月) ・リーマンショックによる米国発金融危機が拡大 (9月) ・第 44 代米大統領に民主党オバマ氏 (11月) |
| 2009 (H21) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・防火シャッター・ドア保守点検専門技術者講習会に平成 20 年度、2,071 名が受講 (累計：6,325 名) (4月) ・『シャッター・ドア用語集』を発行 (5月) ・防火シャッター・ドア保守点検専門技術者を対象に「特別講習会」を開催 (9月) | <ul style="list-style-type: none"> ・米自動車大手 GM、クライスラーが経営破綻 (4月) ・裁判員制度がスタート (5月) ・衆議院選挙で民主党が圧勝し鳩山内閣発足 (9月) |
| 2010 (H22) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「シャッター・ドア保守点検推進研究会」(座長：菅原進一 東京理科大学教授) を設置 (6月) ・高速シートシャッターが (財) 日本環境協会認定のエコマークの対象製品に選定 (7月) ・「防火シャッター・ドアの点検の推進について」(シャッター・ドア保守点検推進研究会) の提言をまとめる (12月) | <ul style="list-style-type: none"> ・バンクーバーオリンピック開幕 (2月) ・小惑星探査機「はやぶさ」が帰還 (6月) ・観測史上最高の猛暑 |

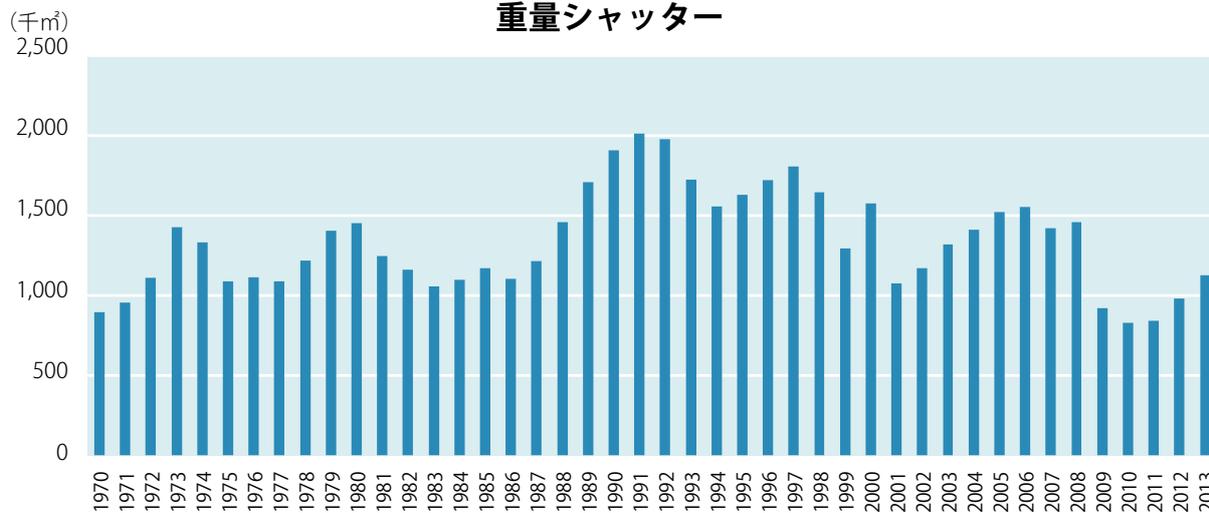
| 年 | 協会の動き | 社会の動き |
|--------------|--|--|
| 2011 (H23) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・優秀工事従業者表彰制度を新設、総会で表彰 (5月) ・ドアの環境耐性に関するユーザー向けパンフレットを発行 (9月) ・「製品安全普及事業検討委員会」(座長：菅原進一 東京理科大学教授) を設置 (10月) | <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災発生 (3月) ・福島第一原発の原子力建屋で爆発事故 (3月) ・東京電力と東北電力管内で電力使用制限 (7～9月) ・なでしこジャパンがサッカーW杯で世界一に (7月) ・アナログ放送から地上デジタル放送へ移行 (7月) ・円高戦後最高値 75 円 32 銭 (10月) ・日本では台風、タイでは大規模な洪水被害 |
| 2012 (H24) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・「シャッター・ドア施工専門技術者」資格認定制度スタート、東京で初の講習会を開催 (3月) ・ホームページに「シャッターをより安全にお使いいただくために」掲載 (5月) | <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省、社会保険未加入対策推進協議会を設置 (5月) ・東京スカイツリー開業 (5月) ・ロンドンオリンピック開幕 (7月) ・笹子トンネル事故 (12月) ・総選挙で自民党圧勝 (12月) |
| 2013 (H25) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・公益法人制度改革により一般社団法人に移行 (4月) ・(一社) 日本シャッター・ドア協会会長に岩部金吾が就任 (5月) ・シャッター・ドアの安全と維持管理の検討について「製品安全普及事業検討プロジェクトチーム」を設置 (10月) ・「浸水防止用設備についてプロジェクトチームを設置 (11月) ・協会の「無線式危害防止装置基準」及び「無線式危害防止装置基準の性能評価方法」について、国土交通省と調整のうえ制定 (12月) | <ul style="list-style-type: none"> ・富士山が世界文化遺産に決定 (6月) ・新型ロケット「イプシロン」の打ち上げ成功 (9月) ・福岡市整形外科医院火災死者 10 名 (10月) |
| 2014 (H26) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・防火設備の検査報告制度導入への対応 (6月) ・防火設備定期検査研究会 (座長：河野守 東京理科大学教授) に参画 (7月) ・防火設備検査制度対策会議 (主査：後藤忠義 協会常任理事) を設置 (8月) ・防火設備検討委員会 (委員長：辻本誠 東京理科大学教授) に委員を派遣 (10月) | <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省、公共工事設計労務単価引き上げ (3月) ・あべのハルカス開業 (3月) ・国土交通省、浸水防止用設備の設置に固定資産税の優遇措置 (4月) ・消費税 8%に増税 (4月) ・建築基準法改正：防火設備の検査報告制度の公布 (6月) ・虎ノ門ヒルズ開業 (6月) |
| 2015 (H27) 年 | <ul style="list-style-type: none"> ・協会設立 50 周年祝賀会 / 平成 27 年賀詞交歓会を開催 (1月) | |

会員／製品別生産量の推移

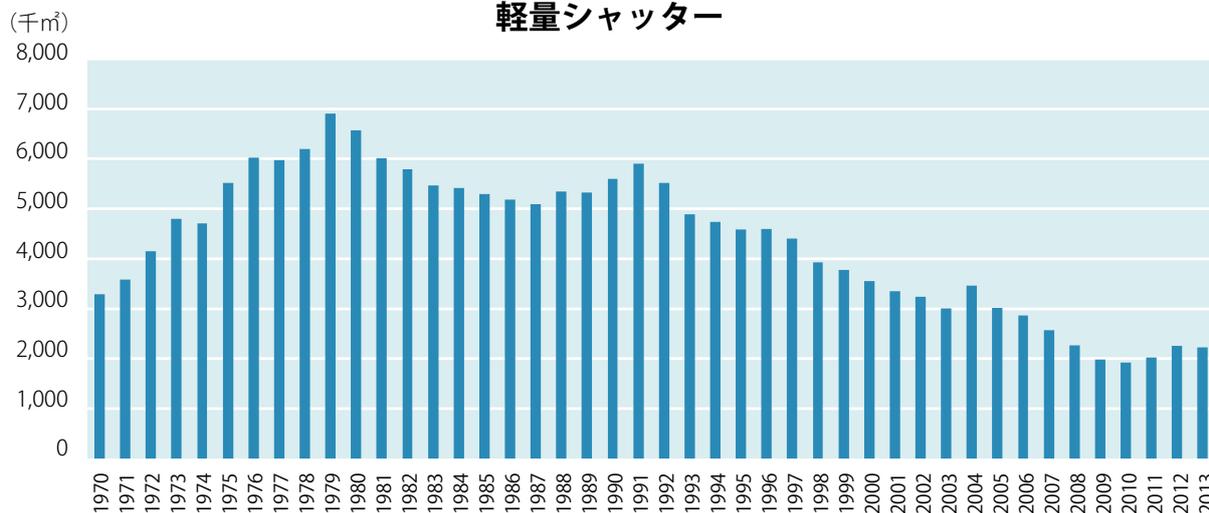
会員数の推移



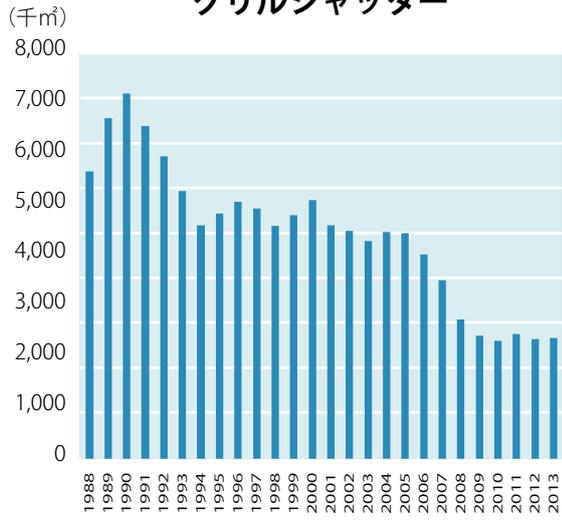
重量シャッター



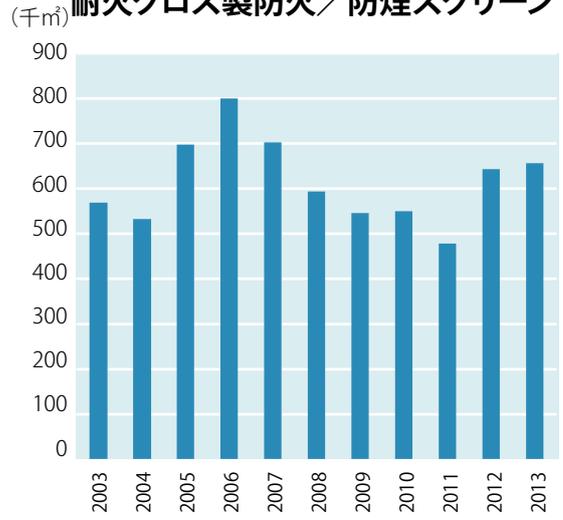
軽量シャッター



グリルシャッター



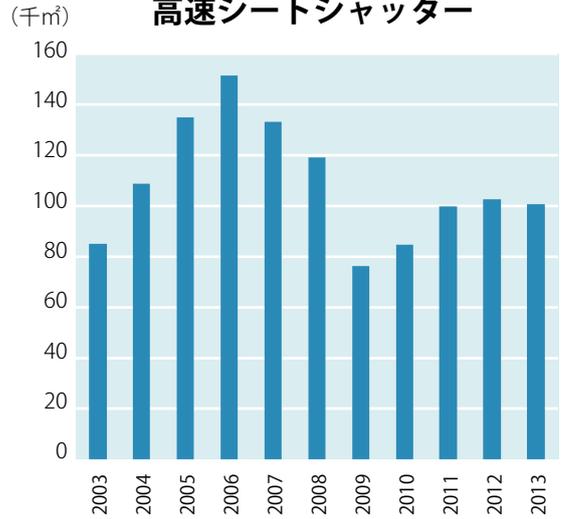
耐火クロス製防火／防煙スクリーン



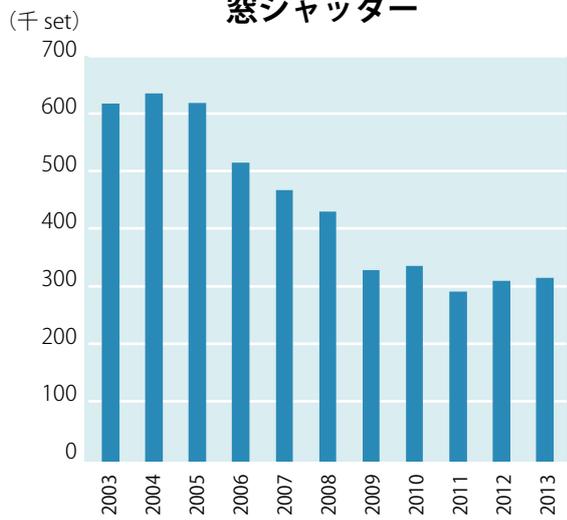
オーバーヘッドドア



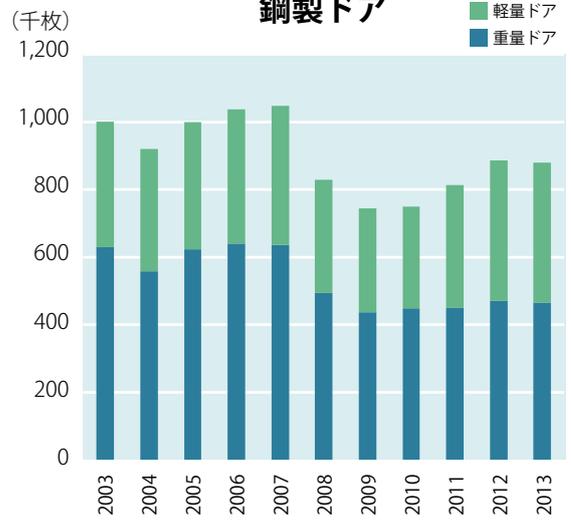
高速シートシャッター



窓シャッター



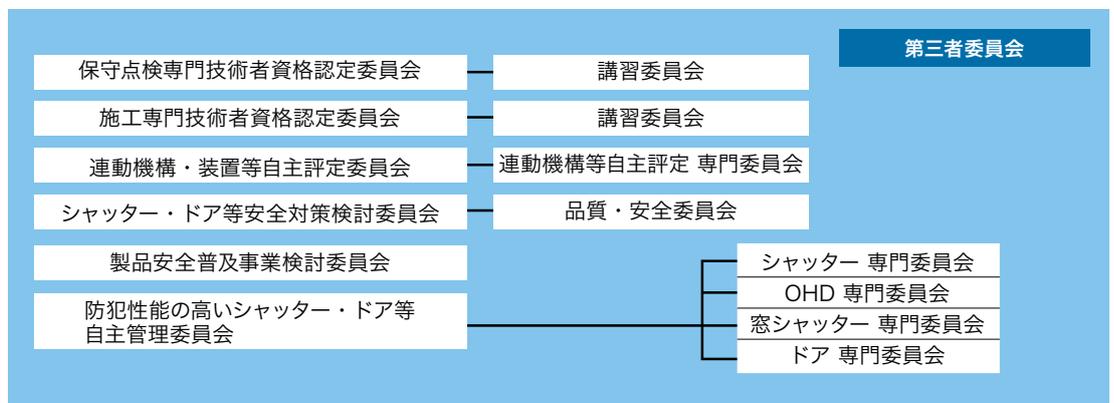
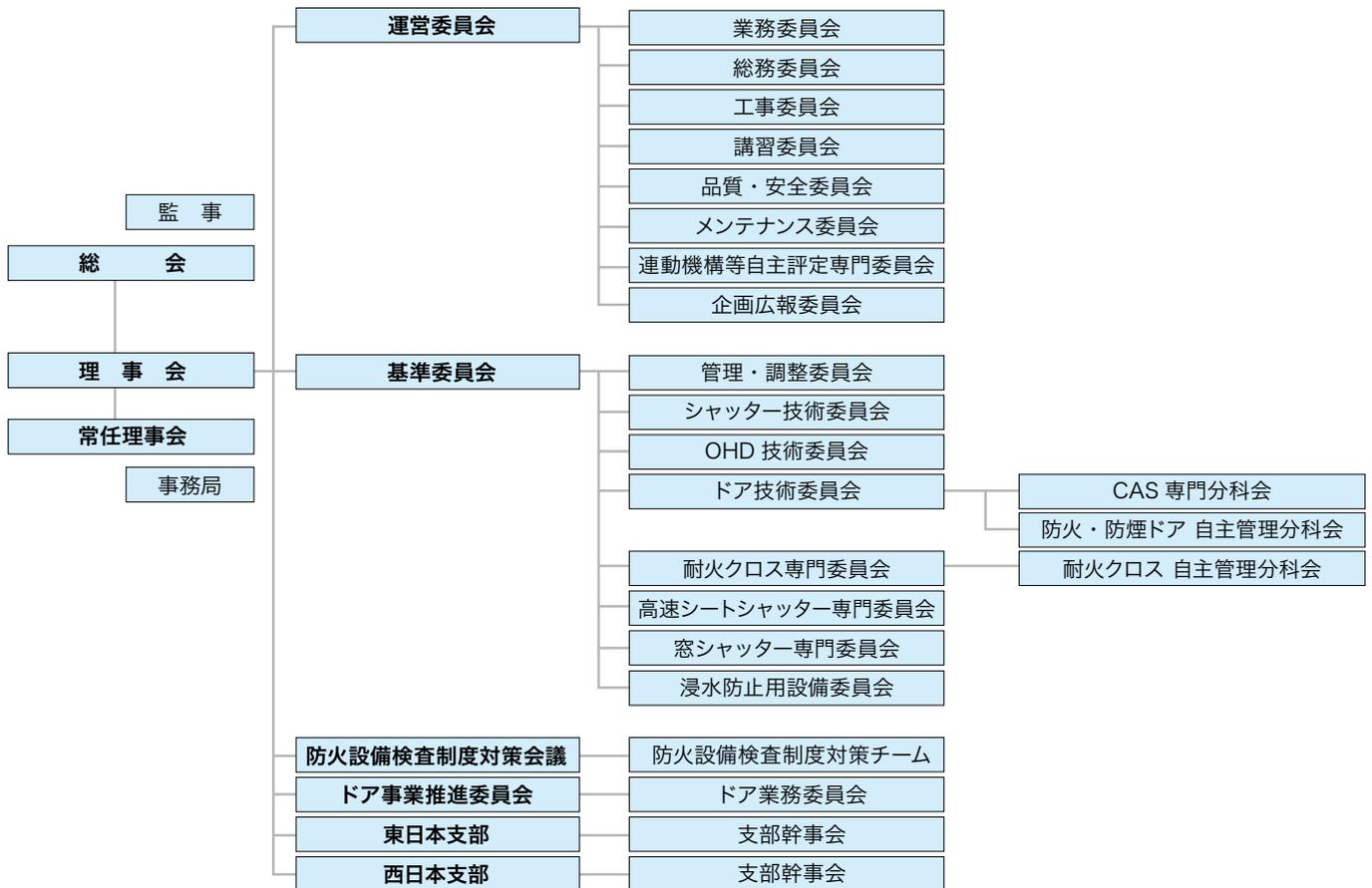
鋼製ドア



役員名簿

| | | |
|-------|-------|---------------------------|
| 会 長 | 岩部 金吾 | 文化シャッター (株) 代表取締役会長 |
| 副 会 長 | 小松 進 | 田中サッシュ工業 (株) 代表取締役社長 |
| 副 会 長 | 木下 和彦 | 三和シャッター工業 (株) 取締役副会長 |
| 専務理事 | 沖村 恒雄 | (一社) 日本シャッター・ドア協会 専務理事 |
| 常任理事 | 後藤 忠義 | (株) 日本シャッター製作所 代表取締役社長 |
| 常任理事 | 岡田 敏夫 | 東洋シャッター (株) 代表取締役社長 |
| 常任理事 | 牛尾 清明 | (株) LIXIL 鈴木シャッター 代表取締役社長 |
| 理 事 | 安中 昇 | (株) 安中製作所 代表取締役社長 |
| 理 事 | 岡 陽一 | 東鋼シャッター (株) 代表取締役社長 |
| 理 事 | 小俣 雅宏 | 小俣シャッター工業 (株) 代表取締役社長 |
| 理 事 | 梶山 博俊 | 大和シャッター (株) 代表取締役社長 |
| 理 事 | 川上 克巳 | (一社) 日本火災報知機工業会 専務理事 |
| 理 事 | 佐々木知也 | 東工シャッター (株) 代表取締役社長 |
| 理 事 | 佐土原 剛 | 金剛産業 (株) 代表取締役社長 |
| 理 事 | 手島 正人 | (株) 手島製作所 専務取締役 |
| 理 事 | 八木 隆 | 日本フネン (株) 取締役 |
| 理 事 | 吉田 倬郎 | 工学院大学 名誉教授 |
| 監 事 | 居谷 献弥 | (一社) リビングアメニティ協会 専務理事 |
| 監 事 | 鉄矢 知志 | B X 鐵矢 (株) 取締役会長 |

組織図



■ 会員名簿 (五十音順)

第一種会員

| 会員名 | 所在地 |
|--------------------|------------|
| 小俣シャッター工業株式会社 | 東京都北区 |
| 金剛産業株式会社 | 東京都中央区 |
| 三和シャッター工業株式会社 | 東京都板橋区 |
| 株式会社総合エンジニアリング | 東京都中央区 |
| 田中サッシュ工業株式会社 | 神奈川県横浜市金沢区 |
| 大和シャッター株式会社 | 大阪府堺市 |
| 株式会社手島製作所 | 東京都江東区 |
| 東鋼シャッター株式会社 | 熊本県合志市 |
| 東工シャッター株式会社 | 福井県鯖江市 |
| 東洋シャッター株式会社 | 大阪府大阪市中央区 |
| 株式会社日本シャッター製作所 | 東京都大田区 |
| 日本フネン株式会社 | 徳島県麻植郡 |
| 株式会社文明シャッター | 青森県八戸市 |
| 文化シャッター株式会社 | 東京都文京区 |
| 株式会社 LIXIL 鈴木シャッター | 東京都豊島区 |

第二種会員

| 会員名 | 所在地 |
|----------------|------------|
| アイシン精機株式会社 | 愛知県刈谷市 |
| 旭金属工業株式会社 | 福島県郡山市 |
| 旭物産株式会社 | 富山県富山市 |
| 有限会社アルファ工業 | 埼玉県児玉郡 |
| アルラックス株式会社 | 東京都品川区 |
| 株式会社安中製作所 | 新潟県中蒲原郡 |
| 株式会社一瀬製作所 | 大阪府門真市 |
| 有限会社エーワンスチール | 埼玉県幸手市 |
| オイレス ECO 株式会社 | 東京都港区 |
| 株式会社岡村製作所 | 神奈川県横浜市 |
| 株式会社面川建機製作所 | 埼玉県川口市 |
| オリエント産業株式会社 | 福岡県福岡市 |
| 有限会社海邦ベンダー工業 | 沖縄県豊見城市 |
| 蟹江工業株式会社 | 愛知県知立市 |
| カネヤ工業株式会社 | 静岡県裾野市 |
| 株式会社亀谷 | 富山県富山市 |
| 関西サッシサービス株式会社 | 大阪府茨木市 |
| 関西シャッター工事株式会社 | 大阪府大阪市西区 |
| カンボウプラス株式会社 | 大阪府大阪市中央区 |
| 有限会社共栄シャッター | 神奈川県横浜市 |
| 光洋シャッター工業 | 大阪府東大阪市 |
| 株式会社モトハシ | 千葉県柏市 |
| 小松電機産業株式会社 | 島根県松江市 |
| 佐々木シャッター工業株式会社 | 東京都足立区 |
| 有限会社三栄産業 | 沖縄県具志川市 |
| サンキョーシャッター株式会社 | 宮城県仙台市宮城野区 |
| 三豊金属工業株式会社 | 埼玉県鳩ヶ谷市 |

| 会員名 | 所在地 |
|---------------------|-----------|
| サンワイズ株式会社 | 静岡県静岡市 |
| シャッターサービス株式会社 | 東京都千代田区 |
| 有限会社シャッターサービスセンター | 大阪府堺市 |
| 株式会社秀建 | 大阪府吹田市 |
| 株式会社昭栄スチール工業 | 福島県郡山市 |
| 新光シャッター工業株式会社 | 高知県南国市 |
| 大同機工株式会社 | 埼玉県戸田市 |
| 大日産業株式会社 | 愛知県名古屋市中 |
| 太陽シャッター工業株式会社 | 大阪府大阪市平野区 |
| 中央発條株式会社 | 愛知県名古屋市中 |
| 株式会社ツカサ | 福岡県遠賀郡 |
| BX ティアール株式会社 | 埼玉県上尾市 |
| BX 鐵矢株式会社 | 東京都中央区 |
| 東邦工業株式会社 | 埼玉県北葛飾郡 |
| BX テンパール株式会社 | 東京都新宿区 |
| 東和シャッター工業株式会社 | 大阪府大阪市住吉区 |
| 中島工業株式会社 | 群馬県前橋市 |
| ナブコシステム株式会社 | 東京都港区 |
| ナブコドア株式会社 | 大阪府大阪市 |
| 日英シャッター株式会社 | 岐阜県羽島郡 |
| 日工マシナリー株式会社 | 千葉県野田市 |
| 日章工業株式会社 | 福岡県粕屋郡 |
| 株式会社日新鋼機製作所 | 北海道石狩市 |
| 日本自動ドア株式会社 | 東京都中野区 |
| 株式会社日本ピット | 大分県大分市 |
| 株式会社ハード新潟 | 新潟県長岡市 |
| 株式会社畑屋製作所 | 愛知県名古屋市中 |
| 株式会社原製作所 | 徳島県三好郡 |
| 阪神シャッター工業株式会社 | 兵庫県伊丹市 |
| BX 紅雲株式会社 | 愛知県犬山市 |
| 株式会社ヒキノ | 鳥取県境港市 |
| フジメタル株式会社 | 静岡県庵原郡 |
| 文化シャッターサービス株式会社 | 埼玉県戸田市 |
| 株式会社豊和 | 兵庫県尼崎市 |
| 北陸東工シャッター株式会社 | 福井県鯖江市 |
| 株式会社マルサ佐藤製作所 | 青森県黒石市 |
| 丸島産業株式会社 | 大阪府大阪市 |
| 株式会社三加茂建鋼 | 島根県出雲市 |
| 美馬シャッター株式会社 | 香川県高松市 |
| 株式会社モリテック・インターナショナル | 東京都中央区 |
| 株式会社ユニフロー | 東京都品川区 |
| ヨコタワークセンター株式会社 | 兵庫県姫路市 |
| 株式会社横引シャッター | 東京都足立区 |

| 会員名 | 所在地 |
|--------------|------------|
| 有限会社ランドマーク | 新潟県新潟市 |
| 鯉城サッシュ工業株式会社 | 広島県広島市安佐北区 |
| ワールド工業株式会社 | 埼玉県さいたま市 |
| 渡辺金属工業株式会社 | 埼玉県行田市 |

準会員

| 会員名 | 所在地 |
|---------------------------|-----------|
| BX 朝日建材株式会社 | 徳島県美馬郡 |
| 宇和断熱工業株式会社 | 群馬県新田郡 |
| 沖電気防災株式会社 | 東京都港区 |
| 加島工業株式会社 | 兵庫県尼崎市 |
| 株式会社神奈川ナブコ | 神奈川県横浜市西区 |
| 株式会社ケイエスシー | 大阪府八尾市 |
| BX ケンセイ株式会社 | 大分県速見郡 |
| 小松ウォール工業株式会社 | 石川県小松市 |
| 三和鋼業株式会社 | 兵庫県尼崎市 |
| 三和タジマ株式会社 | 東京都豊島区 |
| 株式会社サンワックス | 埼玉県熊谷市 |
| 株式会社信栄製作所 | 兵庫県姫路市 |
| 株式会社大東サッシ工業所 | 奈良県生駒市 |
| 東洋ハアーマニー商事株式会社 | 愛知県弥富市 |
| ニッケイ株式会社 | 東京都品川区 |
| 日信防災株式会社 | 東京都千代田区 |
| ニッタン株式会社 | 東京都渋谷区 |
| 日東工器株式会社 | 東京都荒川区 |
| 能美防災株式会社 | 東京都千代田区 |
| パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 | 東京都港区 |
| BX 文化パネル株式会社 | 大阪府吹田市 |
| ホーチキ株式会社 | 東京都品川区 |
| 増田産業株式会社 | 大阪府大阪市鶴見区 |
| 株式会社ミック | 埼玉県日高市 |
| ヤマトプロテック株式会社 | 東京都港区 |
| ルーテス株式会社 | 大阪府松原市 |

賛助会員

| 会員名 | 所在地 |
|--------------|---------|
| 株式会社アイチャージ | 東京都足立区 |
| 株式会社上杉工業 | 大阪府吹田市 |
| 大鳥機工株式会社 | 東京都千代田区 |
| オプテックス株式会社 | 滋賀県大津市 |
| 株式会社カワカミ ロック | 埼玉県吉川市 |
| 株式会社協和興業 | 埼玉県吉川市 |
| 株式会社キンマツ | 大阪府大阪市 |
| 株式会社ケンセイ | 静岡県静岡市 |

| 会員名 | 所在地 |
|------------------|-----------|
| コマニー株式会社 | 石川県小松市 |
| 株式会社ゴール | 東京都港区 |
| サンワ産業株式会社 | 東京都板橋区 |
| 四国化成工業株式会社 | 香川県丸亀市 |
| 株式会社シブタニ | 大阪府大阪市 |
| JFE 鋼板株式会社 | 東京都中央区 |
| 昭和建産株式会社 | 東京都墨田区 |
| 末広金具株式会社 | 東京都千代田区 |
| 杉田エース株式会社 | 東京都墨田区 |
| 杉山製機株式会社 | 富山県射水市 |
| 新生精機株式会社 | 兵庫県加西市 |
| 新日鐵住金株式会社 | 東京都千代田区 |
| ソムフィ株式会社 | 神奈川県横浜市 |
| 武内建材株式会社 | 埼玉県川口市 |
| 東京萬株式会社 | 埼玉県さいたま市 |
| 有限会社東工シャッター浜松販売 | 静岡県浜松市 |
| 日光金属工業株式会社 | 兵庫県姫路市 |
| 日新製鋼株式会社鋼板販売部 | 東京都千代田区 |
| 日鐵住金建材株式会社 | 東京都江東区 |
| 日本ドアアーチエック製造株式会社 | 大阪府大阪市生野区 |
| ハードグラス工業株式会社 | 兵庫県伊丹市 |
| 株式会社バーテック | 大阪府大阪市 |
| パイロシステム株式会社 | 大阪府大阪市中央区 |
| BEA ジャパン株式会社 | 神奈川県横浜市 |
| 富士変速機株式会社 | 岐阜県岐阜市 |
| 株式会社マコト精機 | 福島県会津若松市 |
| 末榮金属株式会社 | 埼玉県越谷市 |
| 松山産業株式会社 | 滋賀県甲賀郡 |
| 美和ロック株式会社 | 東京都港区 |
| 桃美興産株式会社 | 神奈川県横浜市南区 |
| 八洲貿易株式会社 | 東京都港区 |
| 八綱興建株式会社 | 大阪府大東市 |
| 株式会社ユニオン | 東京都江東区 |
| 株式会社ユニテック | 東京都港区 |
| 吉川金属株式会社 | 埼玉県草加市 |
| 株式会社淀川製鋼所 | 東京都中央区 |
| ライン精機株式会社 | 東京都目黒区 |
| リヨービ株式会社 | 東京都北区 |
| 株式会社ワーム | 埼玉県和光市 |

(平成 27 年 1 月 31 日現在)



LUMBERLAND

ランバーランド

住宅の格調を一層引き立てる重厚感。準防火地域適合タイプも加えた、木製ヘッドドア。



OVER HEAD DOOR

オーバーヘッドドア

風に強くて、軽くて、静か。設計・仕様とも一層細やかな配慮がなされたオーバーヘッドドアです。



PANEL SHUTTER

パネルシャッター

パネル一枚一枚を送り込むその動作までもが美しい、新しい概念のパネルシャッター。

株式会社 安中製作所 ノイレスシャッター

祝
50周年

本社 950-0943新潟県新潟市中央区女池神明二丁目10番地3

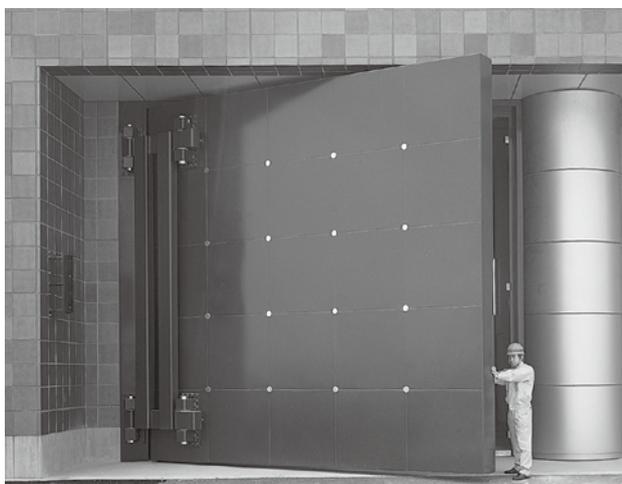
TEL.025-285-0928

本社事業所 959-1795 新潟県五泉市本田屋1182番地

シャッター事業部 TEL.0250-58-6195

祝 一般社団法人 日本シャッター・ドア協会 創立50周年

集中豪雨、都市型水害などの浸水被害から
企業の大切な資産を守ります。



防水扉…機械室・電気室に



防水板…メインエントランス・地下駐車場に

よい品は結局おトクです

お問い合わせは【お客様サービスセンター】へ… ☎0120-81-9060 受付時間 9:00~17:20(土・日・祝日を除く)

©オカムラの最新情報をご覧下さい。【ホームページアドレス】 <http://www.okamura.co.jp/>

オカムラ
株式会社 岡村製作所

国土交通省大臣認定取得

CAS-0274

防火・防煙
オマオープン

袖扉(避難扉)

特許第4992138号
(PATENT NUMBER)

運動シャッター



祝 50 周年



小俣シャッター工業株式会社

<http://www.omata-s.co.jp>

| | | | | |
|------------|-----------|------------------------|----------------------|------------------|
| 本社 | 〒114-0022 | 東京都北区王子本町2-23-9 (加賀ビル) | TEL 03-3905-6211 (代) | FAX 03-3905-6271 |
| 東京支店 | 〒114-0022 | 東京都北区王子本町2-23-9 (加賀ビル) | TEL 03-3905-6211 (代) | FAX 03-3905-6216 |
| 東京支店設計センター | 〒114-0022 | 東京都北区王子本町2-23-9 (加賀ビル) | TEL 03-3905-6211 (代) | FAX 03-3905-6216 |
| 東京支店メンテナンス | 〒114-0022 | 東京都北区王子本町2-23-9 (加賀ビル) | TEL 03-3905-6211 (代) | FAX 03-3905-6275 |
| 名古屋支店 | 〒461-0004 | 名古屋市東区葵1-16-26 (真久ビル) | TEL 052-935-3931 (代) | FAX 052-937-7306 |
| 横浜支店 | 〒231-0011 | 横浜市中区太田町5-69 (山田ビル) | TEL 045-681-3357 (代) | FAX 045-681-3363 |
| さいたま営業所 | 〒338-0002 | 埼玉県さいたま市中央区下落合7-1-21 | TEL 048-833-2131 (代) | FAX 048-833-2409 |
| さいたま工場 | 〒338-0002 | 埼玉県さいたま市中央区下落合7-1-21 | TEL 048-833-2134 (代) | FAX 048-833-2409 |

丁番の総合メーカーです。



一貫した3本の柱と豊富な製品で、
あなたの建築物をしっかりと支えるメーカーです。

企画

設計

製作

建築金物・丁番の

キンマツ

本社 〒536-0001 大阪市城東区古市3-6-13

TEL 06-6939-1541 (代) FAX 06-6939-1372

<http://www.kinmatu.co.jp/index.htm> E-mail: info@kinmatu.co.jp

仙台営業所 TEL 022-782-0790

東京営業所 TEL 048-974-1231

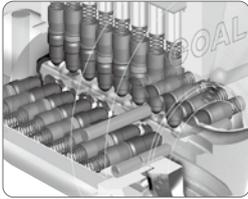
福岡営業所 TEL 092-588-0552

名古屋営業所 TEL 052-528-1588



鍵違い
1,000兆2,800億通りの防犯力。

GOAL[®]
SINCE 1914



ディンプルキー・GV24リバーシブルピンシリンダー

グ ラ ン ビ
GRAND V シリンダー

キーチェンジが必要に応じて繰り返しできる
ユニバーサル・キーシステム(UKS2)を搭載。(オプション)

ユニバーサル・キーシステム(UKS2)は、ピッキングなどの不正解錠に強いGVシリンダーに、グループ内の住戸キーを任意に選択してセットすることができ、シリンダーや錠前を取り替えることなくキー交換できるキーチェンジシステムを新搭載。必要に応じて繰り返しキー交換することができます。

株式会社ゴール

URL... <http://www.goal-lock.com>

本 社:〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2-16-6 | 東京支店:☎(03)3452-6341(代) 大阪支店:☎(06)6308-5441(代) 富山支店:☎(076)434-3971
☎(06)6309-1271(代) FAX(06)6302-0561 | 営 業 所:札幌・仙台・名古屋・広島・高松・福岡 工場:佐賀・米子・徳島・大阪・台湾

●ありがとうございます。おかげさまで創立100周年を迎えました。

日本シャッター・ドア協会 50周年おめでとうございます

空間価値を創造



出入口や間仕切りに設置、節電・省エネ・品質管理に効果を発揮



省スペース
コンパクト
Compact

簡単移設
ユニット式
Unit Design

ハイスピード
高速開閉
High Speed



小松電機産業株式会社
<http://www.komatsuelec.co.jp/monban/>

本社 〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735-188 松江湖南テクノパーク内
TEL.050-3161-2490 FAX.050-3161-3846
松江・東京・大阪・東北・ソウル



祝 創立50周年



安全・安心・快適

三和グループ 三和シャッター工業株式会社 代表取締役社長 長野 敏文

新日鐵住金の高耐食性めっき鋼板

SuperDyma[®]
スーパーダイマ

JIS申請中!

環境に優しいクロメートフリー処理!!

「総合力世界No.1の鉄鋼メーカー」へ



新日鐵住金

薄板営業部

スーパーダイマの詳しいご案内は

スーパーダイマホームページ URL/

<http://www.nssmc.com/product/superdyma/>

お問い合わせ

E-mail

superdym@jp.nssmc.com

ゲリラ豪雨や台風などによる浸水被害が起きる前に！

家屋・店舗・車庫等へ簡単に設置

LIXIL

SUZUKI

アピガード
防水板 オクダケ

オクダケならスピーディで安心です。

工具不要！防水板をレール内に置くだけだから、
簡単、スピーディに設置ができます。



速い！

パネルをオクダケだから
いざという時安心

軽い！

三分割構造のアルミ製
防水パネルだから
薄くて軽量

簡単！

工具不要で
誰でも簡単に設置が可能

コンパクト！

専用バッグにコンパクト収納
持ち運びも楽々

祝 JSDA 創立50周年

安心と安全をお届けする

株式会社 LIXIL 鈴木シャッター

本社 〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-1-4

LIXIL 鈴木シャッター インターネットホームページ

<http://www.lixil-suzuki.co.jp/>

TOYO Shutter

祝 50 周年

ドイツ・ハーマングループとの業務提携製品
ハイスピードシャッター

高速開閉と断熱パネルにより、
省エネ効果を高めると共に安全性へも
十分に配慮した商品です



東洋シャッター株式会社

本社/〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目3番2号 南船場ハートビル12階 TEL. 06(4705)2110
東京本社/〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-14-5 日本橋Kビル TEL. 03(3639)0551
(ホームページ) <http://www.toyo-shutter.co.jp>

2012年10月1日、日新製鋼ホールディングス(株)が誕生しました。
経営統合によりさらなる事業強化を図ってまいります。

COATED
STEEL

STAINLESS
STEEL

ORDINARY
STEEL

SPECIAL
STEEL

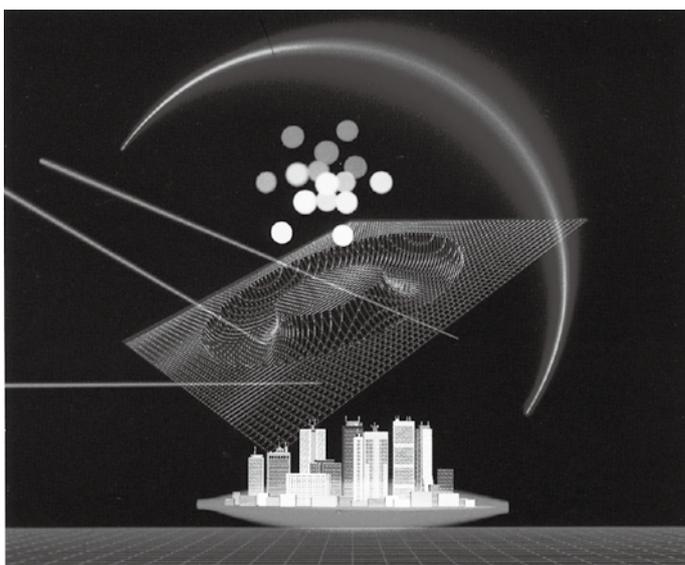
PROCESSING

日新製鋼(株)と日本金属工業(株)は
経営統合により、長い歴史の中で
培ってきた経営資源を結集して
普通鋼・特殊鋼・ステンレスの3分野で
事業強化を図ってまいります。

鉄の可能性を 追究する。

日新製鋼株式会社 www.nisshin-steel.co.jp

〒100-8366 東京都千代田区丸の内三丁目4番1号(新国際ビル) TEL(03)3216-5566 FAX(03)3214-5546



祝 創立 **50** 周年

安心と安全を お届けします。

ビルに、店舗に、駐車場に…

あらゆるニーズにお応えする各種シャッター。

NS
日本シャッター

株式会社 **日本シャッター製作所**

〒145-0064 東京都大田区上池台1丁目14番21号栗本ビル
TEL(代)03(3726)4800 FAX03(3726)4809

BX

文化シャッター

祝 創立50周年

Life in & Lifelong Partnership

お客様に安心・安全を提供する
『快適環境のソリューショングループ』を目指します。



文化シャッター株式会社

〒113-8535 東京都文京区西片1丁目17-3
TEL.03(5844)7111 ホームページ <http://www.bunka-s.co.jp/>

一般社団法人 日本シャッター・ドア協会
祝 50周年

安全・安心をクリエイト

金属系膨張アンカー AAPトルネード膨張アンカー
引戸式特定防火設備遮煙システム ハイブリッド ドアコン
自家発電式ストップセンサー付半自動ドアシステム ハイブリッドドア
省エネ自然換気装置 エコバランス・エコスルー・エコロベエ

<http://www.kk-howa.co.jp>

 株式会社 豊和

本社 〒661-0981 兵庫県尼崎市猪名寺2-21-32
TEL06-6494-1110(大代) FAX06-6494-1336

東京支店・横浜支店・大阪支店・名古屋支店
札幌・仙台・新潟・北陸・広島・福岡

お問い合わせ・お求めは

 0120-198-551

一般社団法人日本シャッター・ドア協会 祝50周年

50th
anniversary

駅の売店でおなじみの
横に引くシャッターの専門メーカー



株式会社 横引シャッター

TEL 03-3628-4500 FAX 03-3628-1188

詳しくは で検索



金剛産業株式会社

代表取締役社長 佐土原 剛

〒104-6233 東京都中央区晴海 1-8-12

晴海トリトンスクエア オフィスタワー Z 33 階



大和シャッター株式会社

代表取締役社長 梶山 博俊

〒 593-8324 大阪府堺市西区鳳東町 7 丁 820 番地

TEL : 06-6789-3151

URL : <http://www.daiwa-sh.co.jp>



田中サッシュ工業株式会社

代表取締役社長 小松 進

〒 236-0002 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町 11-7



株式会社手島製作所

代表取締役 手島 正明

〒136-0071 東京都江東区亀戸 6丁目 24-8-901



東工シャッター株式会社

代表取締役社長 佐々木 知也

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町 1-100

TEL : 0778 - 62-1122

URL : <http://www.toko-ss.co.jp>



東鋼シャッター株式会社

代表取締役 岡 陽一

会社所在地 〒 860-0862 熊本市中央区黒髪 1 丁目 11-10

本社営業部 〒 861-1104 熊本県合志市御代志 1656-3

TEL.096-242-4126

URL : <http://www.toko-shutter.co.jp>



日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長 出向井 康司

大阪本社 〒 544-0014 大阪市生野区巽東三丁目 17-10 TEL : 06-6758-1251

東京本社 〒 110-0012 東京都台東区竜泉一丁目 27-9 TEL : 03-3871-1411

URL : <http://www.e-newstar.co.jp>

JSDA 会報 設立 50 周年特別号・2015 年新春号

発行日：2015 年 2 月 通巻第 43 号

発行者：一般社団法人 日本シャッター・ドア協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-3 フナトビル 4F

TEL:03-3288-1281 FAX:03-3288-1282

URL:<http://www.jsd-a.or.jp>

〈新住所〉

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-5-8 共和 15 番館ビル 2F

〈電話・FAX 番号〉変更なし

〈業務開始日〉2015 年 3 月 2 日

編集委員：企画広報委員会 曾根 政行 (文化シャッター(株))

小林 保 (同)

新子 雅之 (三和ホールディングス(株))

森田真希子 (同)

成松 哲 (東洋シャッター(株))

鮫島 敏郎 (同)

清水 潤一 ((株)LIXIL 鈴木シャッター)

秋元 洋児 (同)

協会事務局長 長嶋 和義 ((一社)日本シャッター・ドア協会)

編集協力：株式会社 企画同人

